

平成26年度第三回 今宮高校学校協議会の記録

実施日時 平成27年2月7日(土) 10時00分～12時

出席者 芦屋大学 教授 吉村 和彦
自 彊 会 会長 藤岡 靖夫
P T A 会長 安東 仁美
戎橋筋商店街振興組合事務局長 山本 英夫
大阪府立今宮高校 校長 境田 優二
大阪府立今宮高校 教頭 曾根原 康樹 (学校協議会事務局長)
大阪府立今宮高校 事務長 永田 文孝
大阪府立今宮高校 首席 田中 清隆 (記録)
大阪市立木津中学校 校長 楠井 誠二
後援会会長 川上 巖生

教頭：教頭の曾根原です。第3回の学校協議会を始めたいと思います。

1 校長挨拶

2 事務局からの報告

① 保護者からの意見について

教頭：今回はありませんでした。

② 第2回授業アンケートの集計結果について

教頭：昨年度の分と比較するとあまり大きくは変わっていない。7月の今年度第1回授業アンケートと比較すると数値が上がっている項目もあります。

③ 学校教育自己診断について

教頭：アンケートの記述欄に記載された回答については資料を回覧しますのでご覧下さい。

学校教育自己診断について、アンケート項目の中の10項目について、教員・生徒・保護者それぞれの意見を比較できるように集計したのでご覧下さい。

各アンケートについてそれぞれの立場で意識が違うことがアンケートから読み取れます。「学校生活や学校行事について総合学科らしさを感じたか」については教員・生徒・保護者の意識が似たものになっていますのがわかります。「学校は進路についての情報をよく知らせている。」や「教職員は生徒の意見をよく聞いている」については、それぞれの意識に隔たりがあります。また、ほとんどの項目で、学年が上がるにしたがって、肯定的な傾向が見られます。

また、記述欄の意見については冊子にしていますのでご覧下さい。

④本年度学校経営計画の自己評価について

校長：

今年度、ビジョン 21 を 6 月から再起動した。首席をリーダーにして若手メンバーも加えて検討している。今後はこのメンバーを核とし、平成 27 年度から学習指導部を新設、分掌化して今年度の議論も盛り込みながら今宮高校のめざす学校像の実現にむけて進めていきたい。

次に、志をもって進路を切り開いて行くという力の育成について、「今宮総合学科で学んで、自分の進路選択ができた」への肯定的回答が昨年度から改善されている。今宮高校に入って 3 年間で、どのように育ってもらうかの基本となる育成プログラムロードマップと、各教科毎の学習スタンダードを整備中である。

今宮高校に入って人前でスピーチをしたりする機会が増え、自己表現ができるようになったという意見が多い。「自分で考える力や自主性を伸ばすことができた」という肯定的回答が 1、2 年で 70%、3 年で 82% である。英語を使う表現の一つとして実施している 1 年の英語暗唱大会、2 年のスピーチコンテストを今年度は、2 月 12 日の午後に大阪市中央公会堂で行う予定である。また、今年度、ユネスコスクールへの加盟が承認された。11 月 8 日に岡山で開催された国際大会「ユネスコスクール世界大会 ー第 6 回ユネスコスクール全国大会ー」に教員を派遣しており、海外の高校等との交流等をふくめてユネスコスクールの活動に取り組んでいきたい。また、来年度、1、2 年の金曜の 7 時間目の総合的な学習の時間の取り組みの一つとして、英検対策講座の実施と、2 年生での英検の原則全員受験を決定した。

自己実現のための学力保証については、「学力を伸ばそうと努力した」の肯定的回答が目標値 75% をわずかながら達成できなかった。平成 27 年度より、現行の月～金の毎日 45 分 7 時間の授業に土曜授業を加えることで、月曜日の 6、7 限に実施している補充授業を解消するようにした。また土曜開催の一部の行事の代休も無くすことにした。この結果増えた 2 時間を授業等に回すことでより学力の充実を図りたい。11 月に研究授業を行い、教員が互いに授業を見合い、授業の進め方、教材、ICT の活用方法の研修を行った。また、来年度はスタディサポート・模擬試験をこれまで以上に活用をするよう計画する。

一人一人の生徒の有する課題への支援体制の充実については、生徒と向き合う時間を確保するため資料の電子化や電子メールの活用を進めている。また、iPad の導入や、1、2 年生の普通教室と 3 年の 3 クラスにプロジェクターの設置を行い、授業での ICT 化が本格化した。

生徒の相談体制の時間の確保に関して「子どもの心身の健康についての相談」の項目の肯定的評価が低下しており、生徒の支援について偏りがあった可能性があり、支援教育コーディネーターと教育相談委員会を中心とした相談支援体制を整備していきたい。

遅刻については生徒達の自主性を大切にし、校務システムを利用した指導の効果もあり、昨年度から 22% 減少した。

学校情報の発信について、クラブ活動情報の充実については多くの情報を広報担当の首席の先生の御尽力でホームページを通し活発に行った。また校長ブログでの情報発信もすすめた。本年度はホームページのアクセス数の目標を、本校の定員と同じ 720 回/日に設定した。現在は通常約 550 回で、イベント前後には 1000 回を超える。「学校のホームページなどの広報活動は充実していた」の保護者の肯定的回答は 91% で保護者の満足度の観点からはほぼ達成した。

オープンスクールや本校での学校説明会に延べ 1500 名以上の中学生が参加した。11 月には中学生を対象に新たに今宮スポーツフェスタを開催し、さらに、中学校への出前授業を 7 中学校で行った。また、土曜日の教養講座を 9 回 19 講座開講した。

PTA 活動については保護者の 88% が活発であったとの肯定的回答をいただいた。PTA 活動の一層の充実と保護者参加の学校づくりの推進していきたい。

平成 28 年は本校創立 110 周年にあたる。記念式典等を実施するため同窓会、PTA、学校が参加する記念事業委員会を 1 月に正式に発足した。

⑤ 来年度経営計画について

校長：

お手許の平成 27 年度の学校経営計画及び学校評価についてご意見を頂きたい。すでに本年度学校経営計画の自己評価の説明の際に平成 27 年度の学校経営計画に触れている部分もあるが、今年度と大きくは変えていない。学校教育自己診断の結果の分析と今回も含めた今年度の学校協議会からの意見も入れて完成したい。

学校教育自己診断の結果で「今宮総合学科で学んで良かった」への肯定的満足度は生徒が 87%、保護者は 96% で保護者の方が高い。全体として満足度は高い。生徒は勉強や部活で忙しそうだが、そんな姿は保護者から見て、よく頑張っていると思われるのかと思う。

今宮高校の校歌に触れる機会を増やし、今宮高校生である事を意識できる機会を増やしたい。

生徒相談の体制の充実に努めたい。「子どもの心身の健康についての相談」の項目の肯定的意見を 70% に高めたい。

生徒の進路保障の観点から、生徒自身が不足と感じている「毎日学習した」、「授

業中大きな声で発言している」の肯定的回答を指標として、学習指導部を中心に、スタディーサポートを活用し、学習習慣と授業の充実により、より学力の伸長をはかりたい。自らが学び高い志をもって学習に取り組む生徒の育成に向けて取り組んでいきたい。また、来年度増える時間を活用して、英検指導を通して、英語力を伸ばし、多くの生徒が英語資格をとることで、自信をつけてもらいたいと思っている。

学校運営面では、分掌・学年の有機的連携の数値がやや低く、来年度の課題である。分掌・学年の連携の緊密化に向けて、掲示板やメールの活用も含めて進めていきたい。来年度、入試制度が変わる。今宮高校のアドミッションポリシーを策定し、より多くの方々に今宮総合学科を知っていただくというためにも、広報に力を入れ、中学、塾等の訪問も積極的に行って行きたい。

教頭：ご意見、ご質問は協議の中で述べてください。

3 協議

委員長：アンケートについてご意見、ご質問をいただきたい。

委員：ボランティアについていかがか。今宮が社会にどう貢献するかのいうことに関して良い機会だと思うが。

委員：学習に力を入れることで、ボランティアに取り組む機会が少なくなっているのでは。

教頭：今宮志学の「産業社会と人間」の授業の中や、バリアフリーで訪問したり、ダンス部が地域の施設でダンスを披露したりしている。毎年繰り返し行っているので、生徒達には特にボランティアを行っているという意識が低くなっているかもしれない。この6年間で計画がほぼできた現在、計画ができた故に新しさを感じなくなったようにも思える。

今年度9月に総合学習の時間委員会に志プロジェクトを合体して志学委員会に改組し、動き出したところである。新しいプログラムを考えるということになっている。

校長：「産業社会と人間」等の授業を企画するのに、教員が社会と繋がるためにどういうチャンネルを持っているかが重要である。その先生のチャンネル構築をサポートして社会と繋げて行くことが必要である。

委員：高校生や大学生に社会性が無いとよく言われる。彼らは機会を作らなければ、なかなか社会と関係が持ちづらい。しかし、一旦、作ると、うまく動いている、先生方の働きかけにより社会との繋がりが持てる。先生方の働きかけが必要である。

委員：授業アンケートや学校教育自己診断で先生方や学校が評価されている。学校協議会はこれを避けて通れない。先生方の指導は時間が経過した初めてわかるということもある。1年の時に厳しく指導されて嫌いになった生徒が3年になって指導に興味を理解したということも多い。生徒達を長い目でご指導願いたい。先生方や学校にはアンケートの結果にポジティブに考え、改善の参考にして、引き続き熱い指導をお願いしたい。

委員：先日お亡くなりになられた考古学者で元奈良大学学長の水野正好先生は、ご存じのように今宮のご出身である。先生はよく、学校の授業に出ずに、中之島の図書館に通われた。このようなことを、当時の先生方は認められた。今宮高校はリベラルな考えを持った多くの社会に貢献する人材を輩出してきた。この背景には、先生方の姿勢があったと思う。現在とは時代が違うが、今の今宮高校の先生方にも、長いスパンで生徒達を指導し、自由闊達な教育の場を作っていただきたいと期待している。

委員：平成 28 年に今宮は創立 110 周年をむかえる。在校生に今宮高校の輝かしい歴史、自彊不息の伝統を知っていただきたい。文化祭に自彊会が参加しているが、来年度はもう一步前に進める形で参加させていただきたい。

教頭：今宮高校はかつて 4 月の宿泊行事で今宮高校の歴史を伝えていた。今年度 PTA で作成された DVD も指導に使うことができる。

委員：卒業生の中には、「今宮」ということを強く意識している人やそんなに意識せずにいる人もいる。自校教育については大学でも行っているが学生達には様々な意見がある。

委員：押しつけてはいけない。

委員：心配ない。生徒は今宮に対して愛情や誇りがある。

教頭：今の生徒は普通科時代や前の校舎を知らない。110 周年記念誌を配れば今宮の歴史がわかる。

委員長：来年度に向けてなにか加えることがありますか。

委員：今宮高校の学びについて、かつ大阪府立大学との連携で、協力させていただいたこともあるが、国際交流について、地元の戎橋商店街も何か協力させていただきたい。ご承知のように、昨年度、日本を訪問する外国人の方も 1340 万人になり、関空に降り立つ外国人の方も 630 万人に上った。これからも増えていくと思われる。今宮高校の周辺の難波地区のホテルも外国人の方で一杯である。外国人の方の要望として、WiFi の整備や移動手段をわかりやすくして欲しいことや、日本人の方とコミュニケーションをとりたいことなどのニーズが高い。戎橋商店街ではこれからの国際観光戦略等を生徒の皆さんのお伝えし、今宮高校の国際交流等の学びに協力したいと考えている。

委員長：多くのご意見をいただきありがとうございます。

教頭：来年度の学校協議会につきまして、第 1 回目を 6 月に実施いたします。